

令和5年度 地方応援隊活動報告書

～霞が関の若手職員による市町村の課題解決支援～



農林水産省

- **地方応援隊**では、**条件不利地域の小規模市町村**に「**隊員**」として**1自治体2名程度の若手職員**を割り当て、年に1、2回の現地訪問や月1回程度のWeb会議等を通じて、**地域課題を整理**し、その**解決策などを提案**しています。
- 現在、**国土交通省38名、農林水産省36名**の計74名が、**全国36市町村**を対象に活動しています。（R5年度初時点）
- 本報告書は、隊員が活動を通じて感じた**担当自治体の魅力ポイント**についてお伝えするとともに、その**地域が抱える課題**、隊員の**活動内容、取組の成果**及び**今後の展望**などについて報告するものです。

地方応援隊活動対象市町村

令和4、5年度

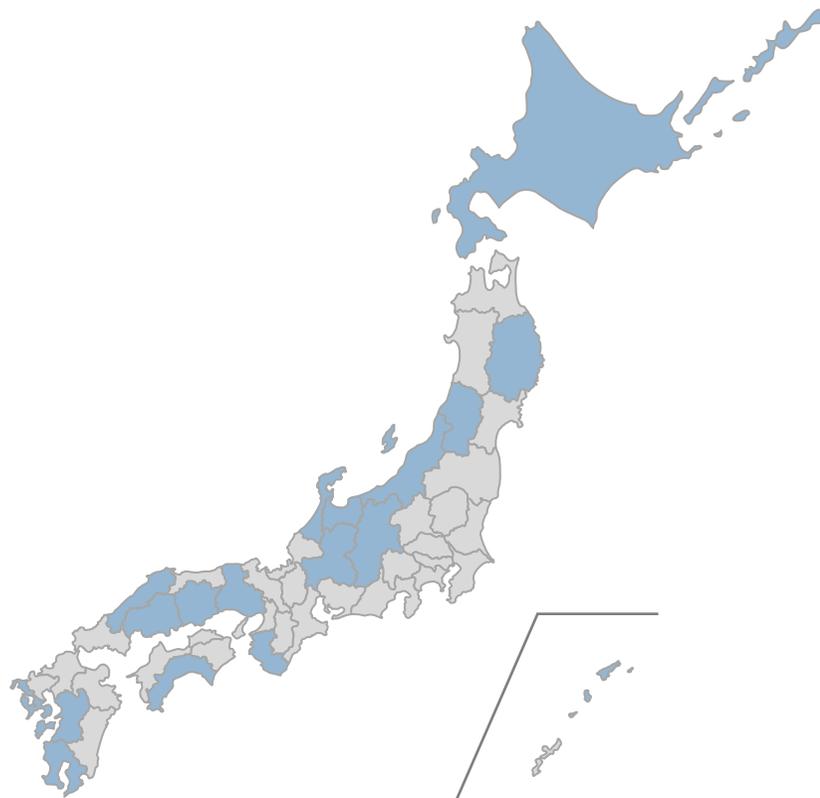
令和5、6年度

- | | |
|--------------------|-------------------|
| <u>01</u> 北海道奥尻町 | <u>14</u> 岡山県新庄村 |
| <u>02</u> 北海道沼田町 | <u>15</u> 高知県安田町 |
| <u>03</u> 北海道当別町 | <u>16</u> 長崎県島原市 |
| <u>04</u> 北海道余市町 | <u>17</u> 熊本県和水町 |
| <u>05</u> 北海道新ひだか町 | <u>18</u> 熊本県人吉市 |
| <u>06</u> 北海道富良野市 | <u>19</u> 鹿児島県知名町 |
| <u>07</u> 岩手県金ヶ崎町 | <u>20</u> 鹿児島県天城町 |
| <u>08</u> 富山県立山町 | <u>21</u> 鹿児島県長島町 |
| <u>09</u> 石川県宝達志水町 | <u>22</u> 山形県鶴岡市 |
| <u>10</u> 長野県木祖村 | <u>23</u> 鹿児島県喜界町 |
| <u>11</u> 長野県飯島町 | |
| <u>12</u> 岐阜県郡上市 | |
| <u>13</u> 兵庫県養父市 | |

※岩手県金ヶ崎町：
令和4年度は活動休止していたが、
令和5年度より活動再開

※熊本県人吉市：
令和5年7月をもって活動終了

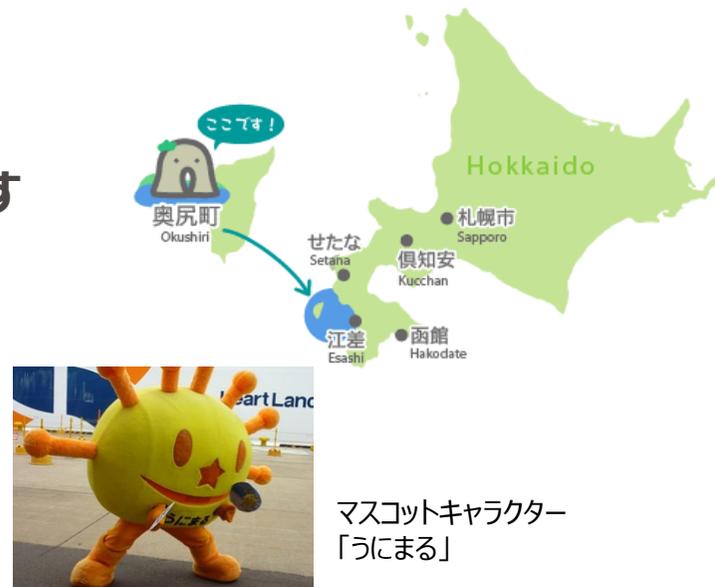
- | |
|-------------------|
| <u>01</u> 北海道蘭越町 |
| <u>02</u> 北海道古平町 |
| <u>03</u> 北海道東神楽町 |
| <u>04</u> 北海道むかわ町 |
| <u>05</u> 岩手県久慈市 |
| <u>06</u> 新潟県糸魚川市 |
| <u>07</u> 長野県飯山市 |
| <u>08</u> 和歌山県北山村 |
| <u>09</u> 島根県西ノ島町 |
| <u>10</u> 岡山県笠岡市 |
| <u>11</u> 岡山県井原市 |
| <u>12</u> 広島県三次市 |
| <u>13</u> 熊本県宇城市 |



奥尻町の魅力ポイント

■ 面積 142.99km² ■ 人口 約2,300人 ■ 指定地域 離島

- 観光業がさかんでウニやアワビなどの海産物が自慢！
- 奥尻町産のぶどうの6次産業化に成功！
- 脱炭素先行地域として「サステナブル・アイランド奥尻」を目指す
地熱発電が取り組みの目玉でエネルギーの地産地消を目指す
- 離島留学生によるまちづくりがさかん！
地域の特産品のマルシェや物販等を高校生主体で開催
- 平成5年北海道南西沖地震の津波災害から復興



奥尻ワイナリーの工場内



観光シンボルの「なべつる岩」とうにまるモニュメント



奥尻高校の授業風景

奥尻町の課題

■ 政策分野 定住対策・地域交通・観光対策

- 奥尻町の離島留学は好評で定員も充足、今後は卒業後の定住へつなげていく必要
- フェリー、バス、航空路線の赤字縮小、限られた予算内での利便性の向上が課題
- 地域の基幹産業である観光に対し、新型コロナウイルス感染症による来島者の減少や、公共工事の増加に伴う建設業従事者の滞在による島内宿泊施設の不足などが大きな打撃

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和4年7月、11月に現地調査を実施し、離島留学生、路線バスの担当部署、観光担当部署、商工会等にヒアリングを実施
- 令和5年4月に観光協会HPの改善案を提案 → 観光協会にてHPリニューアルを検討
- 令和5年5月に離島留学生コミュニティ立ち上げ
- 宿泊施設確保のための意見交換や冬季の観光コンテンツ作りに関する助言などを実施

取組の成果

- 観光協会HPが改善された。
- 離島留学生コミュニティが立ち上げられ、関係人口作りの土台ができた。

今後の展望

- 離島留学生コミュニティにおいて、中核となるメンバーとの意見交換、関係人口づくりに取り組むる他自治体での取組やコミュニティオーガナイズに係る手法の紹介などを通じて、活動の伴走支援を行う。
- 宿泊施設確保や観光コンテンツづくりに向けた情報提供や意見交換を実施する。

沼田町の魅力ポイント

■面積 283.35km² ■人口 約2,900人 ■指定地域 豪雪

■ ほたるの町

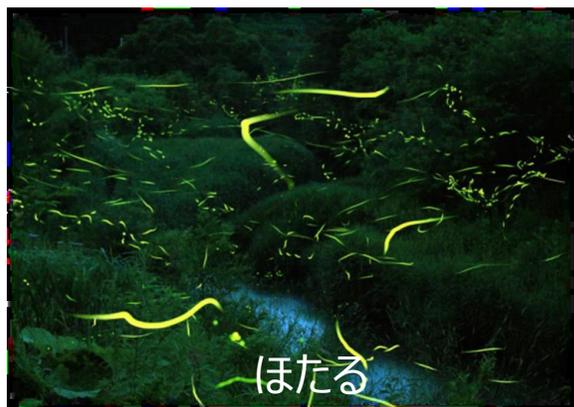
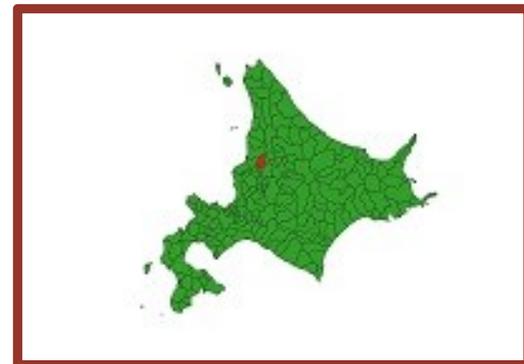
7月上旬～8月上旬にかけて、数千匹のほたるが乱舞しており、大勢の観光客がほたるを見に訪れる。

■ 夜高あんどん祭り

北海道3大あんどん祭りのひとつであり、北海道唯一の喧嘩あんどん。令和4年度は3年ぶりに開催され、約63,000人が来訪。

■ オリジナルの特産品

多い時は150cm/日積もる雪を活かし貯蔵された「雪中米」やしいたけの栽培が盛ん。また、「日本一の加工用トマト生産量の町」を目指しており、トマトジュースやケチャップ[®]の製造に力を入れている。



ほたる



あんどん祭り



トマトジュース

雪中米

沼田町の課題

■ 政策分野 観光振興

- 観光振興に取り組みたいと考えており、「沼田町での暮らし」を体験する滞在型観光をイメージしているが、町民の目線だけではどのようなコンテンツに訴求力があるのかが分からない。
- 沼田町を通るJR北海道留萌本線が廃線。(石狩沼田～留萌：2023年3月末。石狩沼田～深川：2026年3月予定。) 廃線路や沼田町中心地に位置する石狩沼田駅跡等の活用方法及び住民の移動手段の確保など、今後に向けた施策を検討する必要がある。
- 夏場に町内のスキー場の利活用を図りたいが、具体的な方策を知りたい。



応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和4年10月、令和5年2月及び10月に現地へ視察 町営農業施設、廃駅等の視察、季節ならではの自然体験イベントへ参加 観光振興や公共交通のあり方等に関して、町外の目線から意見交換を実施

取組の成果

- 住民の公共交通手段の確保について、意見交換を通じて解決の糸口を探る。
- 他市町村のスキー場の夏場の利活用の事例を報告

今後の展望

- 住民の移動手段の確保など、地域課題の解決にあたっては、引き続き他市町村の事例を参考として解決策を探るとともに、町外との意見交換も積極的に行っていく。



隊員情報：寺田 周平（農村振興局都市農村交流課）、飯田 卓真（国土政策局離島振興課）

当別町の魅力ポイント

■面積 422.86km² ■人口 約1.5万人 ■指定地域 豪雪

■札幌から車・電車ともに40分とアクセスよし！

～札幌近郊は地価上昇中、大都市札幌のベッドタウンとして注目～
札幌周辺の土地開発が進み、近隣都市はベッドタウン化が進行、当別町内の人口も社会増。

■チョコレート会社ロイズの大工場あり！

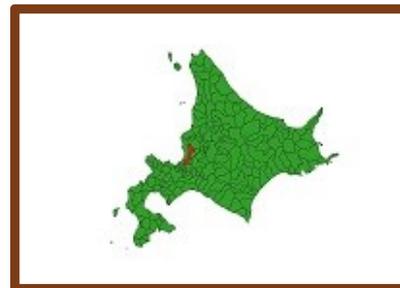
～北海道で20年ぶりの新駅、ロイズタウン駅～
ロイズの工場・見学施設があり、従業員・観光客の足として新駅が開設。

■伊達家ゆかりの土地、伊達政宗の子孫が開拓！

ご当地キャラとベのすけは伊達政宗がモチーフ。

■日本に居ながら北欧を感じられる町！

～スウェーデン国王も訪れた北欧の町並み～
北欧風の住居が立ち並び、北欧の夏を代表するお祭り「夏至祭」も開催。



1	北海道	当別町	70.6倍
2	山形県	高島町	64.0
3	茨城県	北茨城市	50.6
4	秋田県	能代市	30.5
5	新潟県	見附市	28.3
6	山梨県	丹波山村	27.9

訪日外国人数伸び率自治体ランキング：1位!
(引用)<https://www.nhk.or.jp/minplus/0121/topic012.html>



ロイズタウン駅(ロイズの工場・見学施設まで、徒歩約5分)



別荘地として有名なスウェーデンヒルズ



ふるさと納税でも大人気！いとうジンギスカン



「亜麻色」で有名な亜麻。
亜麻栽培復興の地として町として応援している。
約1,500人來場する亜麻祭りを毎年初夏に開催。

当別町の課題

- ロイズタウン駅周辺の活性化
 - ✓ロイズの工場・道の駅等の資源を活かした周遊できる観光
 - ✓ロイズタウン駅前の農地の活用に関する検討

■ 政策分野 まちづくり・観光



北欧の風道の駅とうべつ

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 7月に現地視察を実施し、自動運転の様子等を確認
- 後藤町長と面談を行い、まちづくりに関する考えをヒアリング
- ロイズタウン駅周辺状況・自動運転の内容や、町内喫緊の課題である大学移転について情報共有



駅前広場での運行の様子
(左：2023年7月、
下：2024年1月実施)



取組の成果

- 自動運転バスの実証運行により観光客が増加し、まちのPRや賑わいを創出
- 駅周辺の農地活用について課題の整理

今後の展望

- 駅周辺の開発計画ビジョンを作り、それを実現するための現実的手段を検討。
- 観光地を周遊する自動運転バスについての課題継続検討。
- 大学移転の問題を含め町内課題に対し、今回の取組による繋がりを切らすことなく、引き続き連携を続けていく。



工場見学できるロイズ工場
(令和5年8月からグランドオープン)

余市町の魅力ポイント

■面積 140.59km² ■人口 約1.8万人 ■指定地域 過疎・半島・豪雪

■ ワイン産業

ワインブドウの栽培が盛んであり、一面にブドウ畑が広がる風景は、日本であるとは思えないほど雄大。

国際的な評価を受けたこともあり、余市産ワインの人气が一層高まっている。

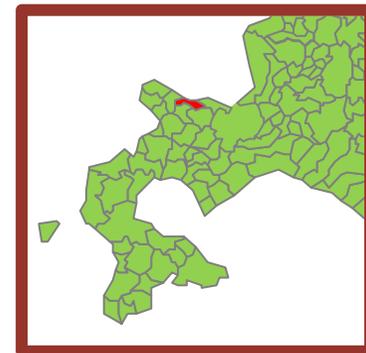
■ ウイスキー産業

ニッカウヰスキーの創業地である“余市蒸溜所”は町の一大観光地となっている。

連続テレビ小説『マッサン』の舞台となったこともあり、余市町の知名度向上に一役買っている。

■ 海の幸

かつてはニシン漁で栄えた余市町。今でも豊かな海の幸を堪能することができる。



ワインブドウ畑



余市蒸溜所



ヘラガニを使用したパスタ

余市町の課題

■ 政策分野 業務効率化・多様な働き方・観光の広域連携

- 電子決裁導入やテレワーク環境整備を通じた庁舎内での業務環境改善、若手職員の意欲向上。
- 新たな地域振興のアイデアを発掘するため、近隣自治体と連携した地域課題解決に取り組む。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 電子決裁の導入に向けた、国での導入事例を紹介
- テレワーク環境の整備に向けた、国での取組事例の紹介と余市町職員との意見交換を実施
- 農水省の実証プロジェクトにより、消費者データ等分析と、町づくりを考えるワークショップ開催
- 若手を含めた余市町職員向けに、余市町の魅力・振興方針に関する資料を作成
- 隣町の古平町との連携の可能性を検討、現地視察を実施

取組の成果

- 電子決裁導入の参考情報の提供を通じた業務環境改善への貢献
- 余市町の魅力を踏まえた、古平町との連携に関する検討結果についての報告資料を作成

今後の展望

- 応援隊活動を起点として、地域課題の解決に向けた北後志地域内の連携した取組の可能性を模索

新ひだか町の魅力ポイント ■面積 1,147.55km² ■人口 約2.1万人 ■指定地域 過疎・振興山村

■ 優駿桜国新ひだか！ 7 km続く桜、丘と馬。ここでしか観られない素敵な風景！

二十間道路桜並木

北海道の桜の名所。直線7kmに、2000本以上の桜。大正5年からの歴史を持ち、樹齢100年を超える木も。春には「しずない桜まつり」が開催され、賑わう。



競走馬のふるさと

「丘があり馬が放牧されている風景」は北海道内でも珍しく、地区の特色であり魅力。軽種馬農協で競りが行われる期間、町内宿泊施設は満員御礼。



■ 新規就農者も頑張っています！ 安心！ 手厚い農畜産業バックアップ体制！

農業

太陽の瞳(ミニトマト)は新規就農者向けにハウスと土地を町が準備。充実した研修体制が人気。



園芸

暑い夏に青色が咲くのは北海道だけ！ デルフィニウムは町の主要産業のひとつ。町営育苗施設により農家のリスクを軽減。



畜産

黒毛和牛の「みつし牛」は町営の肥育施設で一貫生産している。



▲ホテルには競りの際等に利用する馬主さんの馬のタペストリーが飾られていることも。サラブレッドのふるさとだと感じる瞬間。

■ 充実の町営施設！ 森と海 2箇所のカンパ^o場と乗馬施設！

【キャンプ場】

三石地区と静内地区にそれぞれ整備、温泉も隣接。三石地区のキャンプ場は海沿い。季節により星の観測も可能。道の駅もすぐそばでBBQにも便利。隣接の「みつし昆布温泉蔵三」には昆布が浮いている！ 静内地区のキャンプ場は緑に囲まれていてゆっくり過ごせる。



【ライディングヒルズ静内】

教育面に注力した乗馬施設。地域の子どもが競走馬を身近に感じられるよう、馬に触れる機会を創出。施設内に、クイズやぬり絵を設置して、子どもが飽きない工夫をしている。乗馬や餌やりが安価で体験可能。



【特産品】

- ・競走馬
- ・米(トキノミノル、万馬券)
- ・ミニトマト(太陽の瞳)
- ・和牛
- ・昆布
- ・海産物(蛸、ツブ、鮭、マス)
- ・デルフィニウム 等

【お土産(一例)】

- ・三石羊羹(老舗菓子屋作!)
- ・ユッカムジャーキー(桜の香り!)
- ・あらいそまる(昆布入り肉まん)

新ひだか町の課題

■ 政策分野 地域交通・難聴地域の共聴施設等

■ 地域内公共交通利用促進及び交通網再構築

⇒外国人労働者の増加、高齢者交通等を背景に

町民がより利用しやすい交通体系の構築が急務

⇒旧町単位で異なる運行形態を見直し、持続可能な

地域内交通を構築するため計画の策定が必要

■ 難視聴地域の共聴施設及び組合の維持

⇒老朽化施設の改修、組合員としての意識醸成

街中を走行する廃線代替バス。▶
線路は使用時のまま残っている。



◀老朽化により倒れてしまった共聴施設。田んぼ側に傾いていることが写真からも良くわかる。根元から折れてしまっている。

応援隊の活動報告

これまでの活動

■ 2ヶ月に1回のWEBミーティング、現地視察（9月）により状況確認や町の課題を把握

取組の成果

■ 令和6年度中に地域公共交通計画を策定することになった。

今後の展望

■ 地域の関係者と連携し、地域公共交通計画の策定に向けて取り組む。

■ 既存の公共交通体系の再編を検討する（地域の実情に即した持続可能な交通体系へ）

■ 共聴施設関連は、同じ問題を抱える自治体の取組や各種補助制度の動向を引き続き注視していく。

富良野市の魅力ポイント

■面積 600.7km² ■人口 約2.0万人 ■指定地域 豪雪

- 北海道のどまんなか位置し、「へそのまち」「スキーのまち」「ワインのまち」ドラマ「北の国から」の舞台となっている“まち”として全国の人に知られています。
- 豊富な観光資源や大自然を満喫できるワーケーションに力を入れています。NPO富良野自然塾と連携し、植樹などの様々な環境教育プログラムは企業研修などで大人気コンテンツです。
- 富良野市のリサイクル率は90%と全国有数の環境リサイクル都市としても知られています。令和3年度に「ゼロカーボンシティ」宣言を表明しました。ゴミの14種類分別も徹底しています！



富良野の大自然



(出典) ワーケーションプラノHP

環境教育プログラム



(出典) 富良野自然塾HP

固形燃料化された可燃ゴミ



富良野市の課題

■ 政策分野 関係人口創出

- **地域資源を活かしたワーケーションの拡大・定着による関係人口の創出や二拠点居住・移住の促進**
 - **企業向けの人材育成型ワーケーション**を推進しており、NPO法人富良野自然塾での環境教育プログラムや、NPO法人ふらの演劇工房コミュニケーション力向上ワークショップなど、参加者・企業から評判の高いコンテンツを有しているものの、**首都圏からの遠さや企業側の制度未対応などの課題**から、**参加企業の拡大は途上段階**
 - 一時的な保育・就学も受け入れる親子ワーケーション導入等による**新たなコンテンツ創出**や、ワーケーションによる**市内消費額効果の創出**に加え、移住や二拠点居住、サテライトオフィス誘致、ローカルベンチャーなどの**副次効果**を見い出していくことが検討課題
 - 民間のコワーキングスペースが一定程度整備されたものの、**オンライン会議できる個室スペースが不足**

応援隊の活動報告

これまでの活動

- R4.7に現地打合せ・視察を実施し、現場の実態や課題を把握
- R4.10にワーケーションプログラム「地域課題解決アイデアソンin富良野」に参加し、一般参加者とともに「よそ者」目線でゼロカーボン・シティに向けた省エネ・脱炭素へのアイデアを検討
- R5.7に市が参加するデュアルスクールセミナーや企業連携プログラムに同席し、意見交換

取組の成果

- ワーケーション実施者の継続的な関わり創出に向けた新たな仕組み検討の一助となった。

今後の展望

- 引き続き、ワーケーション実施者の継続的な関わり創出に向けて、ファンクラブの仕組み等を議論

金ヶ崎町の魅力ポイント

■面積 179.76km² ■人口 約1.5万人 ■指定地域 豪雪

■東北屈指の産業集積地

岩手県中部（金ヶ崎）工業団地は311haと東北地方最大級であり、トヨタ自動車東日本、デンソー岩手、アイシン東北、シオノギファーマー等、全24社が操業している。



■重要伝統建造物群保護地区「城内諏訪小路地区」

旧奥州街道沿に伊達氏の拠点であった「金ヶ崎要害」があり、その城と武家町の歴史的景観が今なお色濃く残る「城内諏訪小路」は国の重要伝統建造物保存地区に選定されており、着物で散策する体験などができる。



■特産品のアスパラガス

金ヶ崎町では、園芸振興の最重点作物にアスパラガスを掲げ、県内一の作付け面積と生産量を目指している。4月頃から露地ものの収穫が始まり、5月に「金ヶ崎町農業まつり・アスパラ収穫祭」が開催される。



金ヶ崎町の課題

■ 政策分野 除排雪対策

■ 除雪オペレーターの減少による町道除雪サービスの低下

主に町道除雪を請け負う町内建設業は、オペレーターの高齢化が進み減少傾向。また大規模な道路工事を経験する機会が減少しており、グレーダー等の運転技術も低下している中で、町道除雪の一定水準維持を図りたい。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和4年度は町担当者が業務多忙のため活動を休止していたが、今年度より隊員が2名とも新たに変わり、6月より再度活動をスタート
- オンラインでの打合せ、9月に現地訪問し視察・ヒアリングを実施
- 農事組合法人による除雪や克雪体制づくりアドバイザー派遣制度等について12月に提案

取組の成果

- 課題となっていた町道の除雪については、岩手県と確認を行いながら農事組合法人による除雪を検討していくこととなった。

今後の展望

- 引き続き、意見交換・情報提供を行い、金ヶ崎町に現状ある組織や仕組みを活用しながら課題解決につながるアイデアや施策等をまとめる。

立山町の魅力ポイント

■面積 307.3km² ■人口 約2.5万人 ■指定地域 特別豪雪地帯

- 東西に長大でダイナミックな自然環境 (標高は12m~3,015m)
→立山連峰をはじめ、日本一の落差を持つ「称名滝」や溶岩でできた一枚岩「悪城壁」など。
- 登山家がこぞって訪れる「立山黒部アルペンルート」
→東側は中部山岳国立公園。標高3000メートルに達する立山連峰がそびえます。
世界有数の豪雪地帯として、「雪の大谷」の中を歩くことができます (例年4~6月頃)。
- 関西の電力供給の要「黒部ダム」
→貯水量約2億トンを誇り、186mと日本一の高さで見ると人すべてを圧倒します。
- 多種多様な立山グルメ
→棚田の広がる中山間地域で作られるラ・フランス、米どころを活かした地酒など、様々な食を楽しめます。



立山町



立山町の課題

■ 政策分野 働き方改革

- 中央省庁での事例を参考にしながら、立山町役場の業務改善を行う。

応援隊の活動報告

これまでの活動

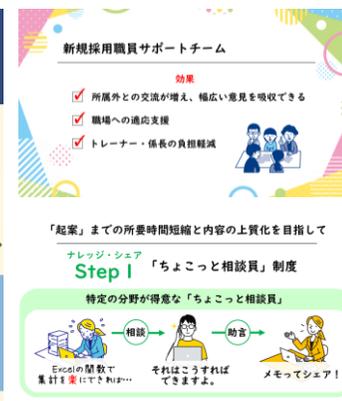
- (R4)月に1回程度、担当者と隊員でオンラインの打合せを実施。
- (R4)8月に現地視察を行い、役場内の現状把握や職員との意見交換を実施。立山町の魅力を実地で体感。
- (R4・R5)町役場若手職員主導の「未来創造プロジェクト(みらプロ)」を企画し立上げ。ワークショップにより、問題意識の深掘りや提案内容の相談(業務時間内に月1~2回程度)。
- (R5.11) 町長を含む町役場幹部級会議にて、業務改善提案のプレゼンを実施！幹部の後押しを得て、実現へ向け動き出し。

取組の成果

- R6年度から、若手職員を事務局として「日報シート」「ナレッジシェア」「ちょこっと相談員」の運用開始が決定した。

今後の展望

- 今回提案に至らなかった「立山マルシェ」等のアイデアについても、活気に満ちた「選ばれる立山町」を目指し、引き続き検討を続ける。



(左) 「未来創造プロジェクト」チラシ
(右) 幹部級会議での業務提案資料



「未来創造プロジェクト」WSメンバー

宝達志水町の魅力ポイント

■面積 111.51km² ■人口 約1.2万人 ■指定地域 豪雪・半島

世界農業遺産に登録されている「能登の里山里海」

■ 観光資源：

世界に3箇所しかない車で走れる砂浜「千里浜なぎさドライブウェイ」、
能登最高峰（標高637.1m）の「宝達山」

■ 特産物：

生産が困難な高級いちじく「黒蜜姫」、高級ぶどう「ルビーロマン」、
白いダイヤモンド「宝達葛」

■ 町の名物：オムライス



CFで資金を募った宝達志水大花火



千里浜なぎさドライブウェイ



高級ぶどう「ルビーロマン」

宝達志水町の課題等

■ 政策分野 まちづくり

- 人口減少、少子高齢化による過疎化はもとより、町内事業者の経営環境悪化等により、若者の流出及び町内所得の域外流出による町の活気が失われている。
- この現状が今後もさらに加速することが予測されることから、これらを抜本的に改善するため、稼げる地域経営を目的としたまちづくりを進めていく必要がある。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 2022年5月から、基本的に毎月打合せを実施。
- 2022年7月、2023年2月及び8月に現地訪問し、観光地や特産品の現場見学、意見交換等を実施。

取組の成果

- 課題解決策のひとつである商業施設の構想実現に向け、現状や課題、施設概要、候補地、他事例、活用可能な補助事業、スケジュール等を整理した資料を作成した。

今後の展望

- 作成した資料を活用して、町内関係者との意見交換を行い、構想実現に向けた取組を行う。



建設候補地の見学

隊員情報：塩尻 善彦（農村振興局農村計画課）、木村 将駿（国土政策局総合計画課）

木祖村の魅力ポイント

■面積 140.50km² ■人口 約2,700人 ■指定地域 過疎・振興山村・特定農山村

- 名古屋市に流れ込む木曾川源流の里 → “木祖”村
- 面積の大部分は山林が占める山間地域（林野率91.19%）
- 高原野菜「御嶽はくさい」の産地 ⇒ 漬物へ
- 標高1,000m以上の畑で育つトウモロコシも甘くて人気
- 古くから伝統工芸品「お六櫛」をはじめとした木製品工業が盛ん
- 夏は「こだまの森」でキャンプやスポーツ等のアウトドア、冬は「やぶはら高原スキー場」でのレジャー、また日本遺産に認定された「中山道鳥居峠」「水木沢天然林」等のトレッキング、ダム湖カヌー体験などの自然資源を活かした観光に力を入れている。
- 木曾川上下流交流事業を積極的に推進
 - ・ 下流から毎年、農業体験や味噌川ダムのカヌーで大勢の観光客 ✓ 名古屋市200万人！
 - ・ 名古屋市内にアンテナショップを設置し、木祖村をPR ✓ 継続的な交流が定着！



特産物の高原野菜「御嶽はくさい」



夏のキャンプ等を中心とした「こだまの森」



伝統工芸品「お六櫛」

木祖村の課題

■ 政策分野 移住・定住推進等（主に空き家対策等）

■ 移住・定住推進に係る施策等

- 空き家…人口減少に伴い、空き家が増加。所有者・移住者の間で売却や賃貸の意向が異なり、うまく合意に至らず利活用が思うように進まない。

（→空き家の賃貸物件が少ないため、移住希望者は賃貸の村営住宅を選ぶことが多い。一方、村営住宅の供給も追いつかないため、移住希望者がいても受け入れるのが難しい現状にある。）

- 地域の魅力発信、移住後の持続性、地域づくり人材の発掘、鳥獣被害、地域公共交通等についても課題感。

（→網羅的に各課題の解決を図るには、行政側のマンパワーが絶対的に不足。このため、村の実態に即し、各課題の解決に向けた中長期的な計画や工程表を作成し、実効性のある取組につなげる必要がある。）

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 2022年 8月 現地に赴いて現状を確認
- 2023年 6月 Web会議
- 2023年 1月 Web会議
- 2023年 8月 Web会議

取組の成果

- 課題の洗い出し、解決への道筋となる制度の紹介

今後の展望

- 相談に応じて空き家対策の好事例・その他課題の関連施策を紹介

隊員情報：藤沼 真吾（農村振興局農村計画課）、嶋崎 雄介（国土政策局総合計画課）

飯島町の魅力ポイント

■ 面積 86.96km² ■ 人口 約9,100人 ■ 指定地域 特定農山村

■ 2つのアルプスが見えるまち

夏は比較的涼しい。台風被害も冬の積雪も少ない。



■ リニア中央新幹線の開通後 長野県駅⇔品川45分、⇔名古屋27分 東京、名古屋からのアクセスがより便利に



■ 遊休荒廃農地を活用した栗の6次産業化

収穫した栗は菓子メーカーに出荷する販路が確立



【出典：信州 里の菓工房HP】

■ 花火のまち

秋には毎週のように花火が打ちあがる。



【出典：ijima note】

飯島町の課題

■ 政策分野 観光振興・移住施策

■ 与田切溪谷の環境整備

観光基本計画に位置づけた「与田切溪谷ウォーターパーク構想」を進め、町内からの利用客や観光客増を狙った環境整備を目指す。

■ テレワーク客の更なる増加

企業向けワーケーション施設、農業体験付きトレーラーハウスを活用したテレワーク客の増加を目指す。

■ UIターンの促進

町の魅力を伝え、移住者増の方法を検討。



与田切公園

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和4年 1回目の現地視察を実施、それを踏まえて、隊員の気づき等を町に共有
- 令和5年 6,11,12月 オンライン打合せ
- 10月 現地視察
- 令和6年 2月 現地視察予定

取組の成果

- 現地視察を踏まえ、国の予算の紹介や、町の取組に対する助言を行った。

今後の展望

- 与田切溪谷の環境整備について、検討を続ける。
- 引き続き、企業向け説明会を行うなど、「飯島流ワーケーション」の周知を図り、利用者増を目指す。

郡上市の魅力ポイント

■面積 1030.8km² ■人口 約3.9万人 ■指定地域 過疎・豪雪

■ 独自の文化・歴史

- ・郡上踊り (日本三大盆踊り、R4.11.30 ユネスコ無形文化遺産に登録!)、白鳥踊り (白山信仰)
- ・“小京都” 郡上八幡 (重要伝統的建造物群保存地区)
- ・郡上八幡城 (日本最古の木造再建城)
- ・古今伝授の里 (和歌)



■ 四季を通して楽しめる自然

- ・長良川、吉田川を中心とした水の町 (水とともに歩んできた暮らし)
- ・市全域の9割を占める山々 (今も残る里山の風景)
- ・白銀の世界 (西日本最大級のスノーリゾート)

■ 多様な食

- ・鮎 ・鶏ちゃん ・ジビエ ・麺 ・朴葉味噌 ・肉桂玉



郡上市の課題

■ 政策分野 空き家・地域交通・エネルギー・観光

- 大きな課題：人口減少や少子高齢化に伴う地域の活力低下、各方面での担い手不足
- 個別の課題：増える**空き家**の利活用、**交通空白地**の拡大を踏まえた新たな輸送資源の導入、**脱炭素社会**（地域循環共生圏）の実現、地域特性を活かした**スノーリゾート**の形成、等
- 郡上を将来にわたって住み続けられる地域とするため、地域の民間有志で構成される“GUJOソサエティ5.1”において、**ハード（拠点整備）・ソフト（仕組みづくり）**の両面から、**目指すべき郡上の社会の姿を議論**。市や市議会への提言・市民への発信を目標に、**議論の成果を「未来構想図」としてまとめ上げる**ため、応援隊として伴走支援。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- GUJOソサエティ5.1や市との**オンラインでの定期的な打合せ**における国の施策紹介・意見交換に加え、2021年より5回**現地訪問、地域の課題や取組を視察**（訪れたエリア：八幡、明宝、白鳥、大和、高鷲、美並等）。
- 2023年8月、現地にて**市長を交えた懇談会を実施**。未来構想図の市長への報告とともに、応援隊より、国土形成計画やデジ活中山間地域関係の**施策を紹介**。また、市において検討中の総合戦略の方向性も踏まえ、地域の課題について**意見を交換**。
- 2023年11月、GUJOソサエティ5.1と**郡上市議会総務常任委員会との意見交換会に参加**、活動を報告。

取組の成果

- **未来構想図の完成**



◀ 完成した未来構想図。中心部と里山部に分けて将来の姿を議論。

今後の展望

- （GUJOソサエティ5.1として）未来構想図について、**専門的知見を有する第三者から評価・検証を受けた後、広く市民に公表する**。**市民の様々な意見を誘発するオンラインプラットフォーム**等を準備し、常に**中身のブラッシュアップ**を図りながら、構想の具現化を段階的に目指していく。
- （郡上市として）**応援隊活動の成果を含め改訂した総合戦略**に従い、**地域活力の再興**や、**担い手確保**に向けた取組を進める。

養父市の魅力ポイント

■面積 422.9km² ■人口 約2.1万人 ■指定地域 過疎・豪雪

- 棚田王国！別宮、宮垣、能座が「つなく棚田遺産」
- 温泉王国！とが山温泉、やぶ温泉、若杉高原温泉、関宮温泉
- 冷涼王国！高い標高、夏は避暑！冬はスキー！



- 畜産王国！但馬牛、八鹿豚、但馬鶏 そろい踏み☆≡
- 土産王国！棚田米・日本酒、地場産の朝倉山椒・ゆずを活用したおつまみやデザートが豊富 お土産に困らない👏
- 改革王国！いち早く国家戦略特区申請。企業農地取得特例、高齢者雇用特例、旅館業法要件緩和等

養父市 (別宮地区) の課題

■ 政策分野 地域振興

- 「つなぐ棚田遺産」に認定されている別宮の棚田は、兵庫県最高峰 (氷ノ山) を臨む棚田として写真家や棚田愛好家等に人気。また、棚田は一般に縦に長いものが多いが、本棚田は横に広く、平野のように開けた棚田という点に希少性と特徴。本棚田は観光の起爆剤として期待される反面、①別宮地区の人口減少・高齢化により、棚田の維持管理のための人的コストが高まっている点、②案内するための看板が少なく、動線が定まらない点に課題がある。

応援隊の活動報告

これまでの活動

※：下記の他、月1ペースでオンラインで打合せを実施

- R4年5月：オンライン打合せ (市より別宮の棚田に関する維持管理について問題提起)
- 6月：現地視察 (市長等との意見交換、**住民との意見交換**、別宮の棚田等の視察)
- 9月：オンライン打合せ (**12に及ぶ解決策の提示**、市より新たに看板設置 (宮垣、能座、別宮の3棚田) に関する問題提起)
- 12月：現地にて、①地区代表者に指定棚田地域の申請 (※1) 等について説明・意見交換、
②**市とともに国道河川事務所に、国道沿いへの3棚田それぞれの看板設置について相談**
※1：指定棚田地域に指定された場合、農林水産省事業の補助率の嵩上げ等の支援を受けることができる
- R5年3月：オンライン打合せ (①住民間合意形成の進捗、②看板デザインの調整状況の確認)
- 5月：オンライン打合せ (①住民間合意形成の進捗、②看板設置に向けた調整状況の確認)
- 7月：オンライン打合せ (①隊員より地域管理構想のモデル自治体応募を提案)
※2：後日、地元住民の理解が得られず、応募しないこととなった。
- 11月：オンライン打合せ (①指定棚田地域採択の報告。ただし棚田維持に向けた**住民間合意形成は不調に終わった**との報告を受ける。②**看板 (宮垣の棚田) の工事開始**の報告)

取組の成果

- ①棚田の維持に向け、地域内で管理体制が構築されるよう2年間支援してきたが、住民間での合意形成は不調に終わった。②R5年12月に、国道に看板が設置 (宮垣の棚田)。

今後の展望

- 来年度からは、新規に大学サークルとのマッチング等の事業を行うなど、PRに努めていく。また、看板については、他の2棚田への動線を選定した上で、国道河川事務所と調整していく。

新庄村の魅力ポイント

■面積 67.1km² ■人口 約850人 ■指定地域 豪雪

- 古くは出雲街道の宿場街「新庄宿」として栄え、旧出雲街道は今も桜並木が立ち並ぶ町のメインストリートとして当時の面影を残している。
- 平均気温が11℃と低く、避暑地のような環境で森林セラピーを体験できる。
- 毛無山を主峰とする1000m級の美しい連山に囲まれ、総面積の9割を占める森林は、植物、野鳥の宝庫となっている。
- 豪雪地帯に指定されるほど積雪量が多く、一面の雪景色を楽しむことができる。



新庄村の魅力をご紹介します!



「日本で最も美しい村」連合に加盟

新庄村の課題

■ 政策分野 業務効率化、地域計画

- **業務効率化**：小規模自治体である新庄村において、住民サービスを提供する村役場の果たす役割は非常に大きい一方で、庁内業務にかかる職員への負担は年々増えている。
- **地域計画**：村の中心部である町地区・がいせん桜通りのインフラ整備について、埋設されている水道管などインフラ設備の老朽化が懸念されている。また、空き家が増えてきている一方で、除去や整備にはコストがかかるため、空き家や除去後の土地の有効な活用手法について検討したい。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- **業務効率化**：DX推進支援業務へオブザーバーとして参加し、国の取組事例等の情報提供に加え、各打合せへの参加など伴走支援を実施。また、現地視察と合わせて職員ワークショップへ参加したほか、幹部職員のみならず若手職員とも意見交換を実施した。
- **地域計画**：インフラ整備、農地整備、空き家利活用などの諸課題に対して、国の制度等を情報提供。景観条例作成支援。

取組の成果

- 国の取組事例や諸制度等の情報提供をによる業務改善ロードマップ策定への貢献、景観条例の作成。

今後の展望

- 難易度、期待効果、政策等を考慮した各施策の優先順位や導入期間が可視化する業務改善ロードマップが策定され、業務効率化が図られるとともに職員の意欲向上に資する。
- 同じ問題を抱える自治体の取組や各種補助制度の動向を注視しながら、ロードマップに基づきインフラ整備、地域計画等の見直し、再検討に取り組む。

安田町の魅力ポイント

■面積 52.36km² ■人口 約2,200人 ■指定地域 過疎

- 高知県東部に位置し、海・川・森の自然がとっても豊か
海を眺めたり、川で遊んだり。安田川沿いは紅葉もとってもきれいだそうです。
- 観光施設もたくさん、見どころいっぱい！
 - ・大心劇場
 - ・清流キャンプ場
 - ・唐浜休憩所 等
- 特産品は鮎と日本酒
- 清流育ちの安田川の鮎は、良質のコケをえさとし、全国の鮎を食べ比べる「清流めぐり利き鮎会」で2度もグランプリを受賞。
また、安田町には土佐鶴酒造と南酒造という2つの酒蔵があります。



← 唐浜休憩所



↑ 安田川アユおどる清流キャンプ場



↑ 大心劇場



↑ 味工房じねんで食べた鮎の塩焼き定食

安田町の課題

■ 政策分野 中山間地域対策

■ 阿南安芸自動車道（高規格道路・奈半利～安芸間）の事業化（安田～安芸間）に併せた、周辺農地や県道・町道の一体的整備

県道の付け替え、広域農道の整備。

⇒デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生整備推進交付金（道整備交付金））の使用を検討

■ 中山間地域での担い手不足、耕作放棄地の増加

⇒① 1 件の農家が栽培する固有品種（ゆず）を地域ブランドにすることを検討。

地域全域での栽培に向けた栽培方法の確立が課題。

② 安田町中山地区には将来ビジョンがないことが課題。

地域全体で課題を共有し、地域で取り組むべき将来ビジョンを作成。

■ 町内観光施設等の活性化

⇒キャンプ場、日本遺産（周辺 4 町村と広域認定）関連文化財の観光活用を検討。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- これまで 2 度にわたり、安田町を訪問。町長、副町長、関係課に加え、地元の有識者と意見交換を行った。
- Webミーティングを実施し、国の関係支援制度等について助言。

取組の成果

- 地域改題についてヒアリングを実施し、国の関係支援制度の活用につなげた。

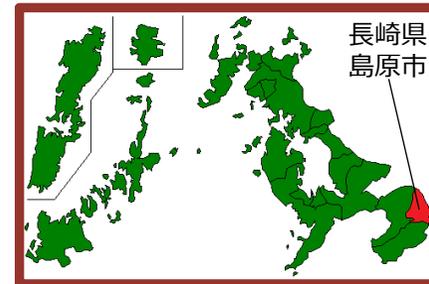
今後の展望

- 来年度から「元気な地域創出モデル支援（農水省）」を活用予定。中山間地域における課題解決に向けて取り組んでいく。

長崎県島原市の魅力ポイント

■面積 83.0km² ■人口 約4.3万人 ■指定地域 半島

- 豊かな歴史 (島原城、武家屋敷) …①
- ジオパーク (雲仙普賢岳の噴火災害跡、平成新山、眉山の山体崩壊) … ②
- 湧水 (町中を水路が流れ鯉が泳ぐまち、四明荘、舞岳源水) … ③
- 島原鉄道 (キリンレモンのCMで有名な「日本一海に近い」大三東駅) … ④
- 島原名物 (かんざらし、島原手延そうめん、具雑煮、新鮮な魚介類) … ⑤



①



島原城



武家屋敷

②



雲仙普賢岳噴火

サムライブルー龍馬像
(平成新山をバックに)

③



四明荘



舞岳源水

④



島原鉄道大三東駅



幸せの黄色いハンカチ

⑤



銀水「かんざらし」



新鮮な魚介類



島原市の課題

■ 政策分野 半島振興

- 島原鉄道の廃線区間を活用したサイクリングロードの整備
- 農林漁業体験実習施設「舞岳山荘」の有効活用、施設の拡充（グランピング施設化の検討）
- 島原鉄道大三東駅における新たなコンテンツの磨き上げ（集客や収益を生み出すコンテンツ創出）
- ワークーション等施設に改装中の旧堀部邸の活用（集客や収益を生み出すコンテンツ創出）

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 6月にオンラインミーティングにより挨拶や今後の活動方針についての相談。
- 課題解決に向けた関係者へのヒアリングや調査、情報提供の実施。
- 9月にオンラインミーティングにより調査結果報告や現地視察の検討。

取組の成果

- 各種補助制度や先進的な取り組み事例等を調査し共有することで、地域課題の解決に貢献した。

今後の展望

- 国や関係自治体間で継続的に連携を図り、魅力的なサイクリングロードの整備や舞茸山荘のグランピング施設化を達成するとともに、島原鉄道も活用した集客や収益を生み出すコンテンツを創出することにより、産業活性化や観光振興、地域活性化を図る。

隊員情報：花田 潤也（農村振興局農地資源課）、佐藤 優生（国土政策局特別地域振興官付）

和水町の魅力ポイント

■面積 98.8km² ■人口 約9,000人 ■指定地域 特定農山村、過疎

- 熊本県の北部に位置する和水町は、2006年に菊水町と三加和町が合併して発足。福岡空港から高速バスで約60分、博多駅から新玉名駅（隣の玉名市所在）まで約40分と、九州外からのアクセスもよい。
- 町出身の金栗四三は箱根駅伝創始者でもあり、日本マラソンの父と呼ばれ、スポーツ振興に尽力（グリコのロゴのモデルともいわれている！）
- 特筆すべき観光地は、「なごみキャンプ場」と「三加和温泉」。また、「江田船山古墳」や「八つの神様」があり、歴史的な史跡巡りができる地でもある。
- 和水町を流れる菊池川流域は、約2000年に渡る水稻の歴史から、文化庁指定の日本遺産にも登録されるほどであり、現在もその豊富な水資源を生かして稲作や農業が盛んに行われている。
- 詳細な観光情報は、↓のURLや銀座熊本館2階で頒布しているパンフレットを参照！



<https://www.town.nagomi.lg.jp/kankou/default.aspx>



なごみキャンプ場



三加和温泉郷



江田舟山古墳と刀の銘文など

和水町の課題

■ 政策分野 定住対策・地域活性化

- 人口減少（2万人超(S22)→1万人割り(R元)）と高齢化（65歳以上の割合は42.5%（R2））に伴って、空き家の増加が顕在化。**お試し住宅等の移住者支援策**に取り組んでいる。
- また、**産業振興**や**知名度向上**に向けて、**企業誘致**に力を入れるとともに、東京の熊本県アンテナショップや肥後細川庭園等の活用により、**東京在住者等へのPR**にも力を入れて取り組んでいる。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 老朽化した道の駅「きくすい」のリニューアルに当たって、PPP/PFIの活用を検討するための調査事業である「先導的官民連携支援事業」等の補助事業を提案
- ⇒現在は、**当該補助事業を活用し、PFI事業による施設リニューアル**に向けて、引き続き検討・調査中
- 農水省の「データ活用による地域と都会をつなぐ実証プロジェクト」により、**消費者データ等のビッグデータを分析**するとともに、今後の町づくりを考える**ワークショップを開催**
 - その他、町所有の未利用地の処分等の個別相談に対し、助言や参考制度の紹介等を実施

取組の成果

- 今回、**交流施設のリニューアル等、一定の期間を要する課題を中心に議論・検討を進めてきたため、取組期間中に案件を最後まで進める**ということは難しかったが、1ヶ月に1回程度の打ち合わせを継続的に行うことによって、意見交換や情報共有等を行うことができ、**取組終了後も気軽に相談ができる関係性を構築**することができた。

今後の展望

- 更なる地域の活性化を図っていくために、今回の取組で中心的に議論してきた交流人口・関係人口の創出に加えて、**移住（Uターン含む）や定住を希望する人が増える環境づくり**に取り組んでいく。
- そのために、**デジタル技術を活用した産業の育成や関連企業の誘致を推進**していく予定。

知名町の魅力ポイント

■面積 53.3km² ■人口 約5,600人 ■指定地域 奄美

■ どこまでも続く透きとおった青い海と白い砂浜

島には手つかずのビーチが残り、シュノーケリングで少し潜れば熱帯魚やサンゴを見られます。
少し沖まで出てダイビングをすれば、ウミガメやザトウクジラにも出会えます。

■ 地底に神秘の空間が広がる鍾乳洞

島には200以上の鍾乳洞があり、洞窟を探検するアクティビティ「ケイビング」を楽しめます。
手軽に入れる観光名所の「昇竜洞」から、ヘッドライトを付けて入る本格的な洞窟まで様々です。

■ 南国特有の花や野菜・果物、海産物

マンゴーやイセエビなどが特産品で、ふるさと納税の返礼品にもなっています。
青パイアや島バナナは、島で日常的に食べられる野菜や果物です。

沖永良部島
知名町と和泊町からなる隆起
サンゴ礁の島。



特産品はイセエビやマンゴー



ケイビングで地球の神秘を体感



島のあちこちに広がる美しいビーチ

都会の慌ただしさから離れて、ゆったりした
【島時間】が体感できる知名町だボー。
オフシーズンにはサッカーの遠藤航選手や
阪神の近本光司選手も来てくれるボー！

一年を通して亜熱帯の美しい花々が咲く
(左：ハイビスカス、右：エラブユリ)

ちなボー

知名町の課題

■ 政策分野 環境・脱炭素

- 離島のためエネルギー供給に脆弱性があることから、島全体で脱炭素化を推進。R4年4月に環境省の脱炭素先行地域に認定され、再生可能エネルギーやEVの利用促進等に取り組んでいる。
- EVの利用促進について、EV導入後の民間等による持続的な運営が課題。
- 営農型太陽光発電の実施を検討中だが、栽培作物の検討、地元との合意形成等が課題。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- R4年度は、地域マイクログリッド事業を担う地域新電力会社の設立に向け、月1回程度のweb打合せと9月の現地訪問を行い、会社設立に必要な手続きや他地域での事例を情報提供。
- R5年度は、月1回程度のweb打合せを実施し、EV、営農型太陽光発電等の事例や支援制度について情報提供。

取組の成果

- 提供した情報を参考にしつつ、知名町が地域マイクログリッドやEVの実証事業を実施。

今後の展望

- 地域マイクログリッドの構築や、産学官連携によるEVの実証事業等により、島内のカーボンニュートラル化を推進し、地域課題解決の手段として脱炭素関連事業を実施していく。



R5年度に実証事業を実施したEVのグリーンスローモビリティ（地域交通・観光分野での普及を目指す取組）

天城町の魅力ポイント

■面積 80.4km² ■人口 約5,500人 ■指定地域 過疎・奄美

■ 魅力あふれる徳之島・天城町

徳之島は自然豊かでアマミノクロウサギなど希少な固有種が数多く生息することなどが評価され、奄美大島、沖縄島北部、西表島とともに世界自然遺産に登録された。

世界自然遺産
「天城岳松原登山道」



伝統文化「闘牛」



日本最大級の海底鍾乳洞とされる「ウンブキ」



アマミノクロウサギ観
察小屋



■ スポーツ分野

今年で36回となるトライアスロンIN徳之島大会が開催されており、令和5年度特別国民体育大会トライアスロン競技が天城町で開催された。



競技会場の
「与名間ビーチ」



■ 人気のふるさと納税返礼品

【徳之島の天城町から島のフルーツ定期便】

島バナナ・パッションフルーツ・マンゴー・ドラゴンフルーツ・メロン・タンカンなど、季節のフルーツを年6回お届け。

7月の視察の際は、
マンゴーが食べ頃を
迎えていました！



天城町の課題

■ 政策分野 観光政策

- かつて賑わっていた平土野商店街について、天城町役場の移転や製糖工場の閉鎖等によって、商店街の衰退が加速したという認識のもと、責任を持って活性化をしたい。
- 町の一部が世界自然遺産に登録されたが、観光面ではまだ効果が出ていない。観光客増に向け、行政としてどのような取り組みをしていくか苦慮している。

応援隊の活動報告

今年度の活動

- 今年度（R5）については7月に天城町を訪問。現地を視察すると共に、企画財政課やその他関係部署、地域関係者との意見交換を実施。
- 平土野商店街活性化方針策定の参考として、**商店街再生事例の調査を実施**。

取組の成果

- 活性化プロジェクト実施にあたり、住民の商店街への想いを再確認した方が良いとの地元協議会の意向。天城町による**平土野集落の住民アンケートを実施**。

今後の展望

- アンケートを実施したものの回収率が低く、住民の関心や周知が進んでいないという結果に。

そこで



目指すべき平土野商店街のビジョン策定のため、行政と住民の対話を実施。

- 来年度以降、活性化のための取組周知・対話のため、商店街の将来図を考えるイベント等の企画を検討していく。

長島町の魅力ポイント

■面積 116.12km² ■人口 約9,700人 ■指定地域 過疎・離島

■【食】ブリの養殖が日本一！！

稚魚（モジャコ）から出荷まで、漁場で一貫して養殖されるブリは、『鯨王』のブランドで知られ、その生産量は年間約1万2千トンにも上り、国内のみならず、海外にも輸出されている。養殖のタイも脂が乗っていて美味。

■【飲】芋焼酎『さつま島美人』の故郷！！

長島町の五つの蔵元（宮内酒造・宮乃露酒造・長山酒造・杉本酒造・南洲酒造）の焼酎を巧みにブレンドした全国的に有名な芋焼酎。そのほか島内限定で販売される『さつま島娘』や黒麹で仕込んだ『だんだん』等の多様な焼酎を楽しめる。

■【観】日本有数の化石産地！！

長島町の獅子島では、島の大部分が約1億年前「白亜紀」の地層とされる御所浦層群で覆われており、海岸等の古い地層が露出しているところでは、容易に化石を発見できる。



長島町の課題

■ 政策分野 地域交通・高齢化対策

- 町唯一の離島「獅子島」への架橋
- 公共交通網の整備
- 高齢化への対策
- 廃校舎の利用
- 「化石」を利用した町おこし

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 6月、Webヒアリングを実施
- 7月、長島町を訪問。現地視察及び獅子島の島民、役場職員との意見交換を実施
- 交流人口増加に向けた取組みを提案

取組の成果

- 町が旅行業者と連携して旅客船を活用した観光ツアーを企画。今後実施予定。

今後の展望

- 化石等の観光資源の磨き上げ等によるコンテンツ強化や、島内の道路整備促進などの取組みを推進することにより、交流人口増加を図っていく。

鶴岡市の魅力ポイント

■面積 1311.53km² ■人口 約11.8万人 ■指定地域 過疎

- 3つの日本遺産 出羽三山、サムライゆかりのシルク、北前船
- サイエンスベンチャー拠点 慶應義塾大学先端研、YAMAGATA DESIGN
- 世界に認められた食文化 ユネスコ食文化創造都市に認定
- **開湯1,200年の歴史を誇る「あつみ温泉」**
- 経済産業省 伝統的工芸品「羽越しな布」
- **在来作物「焼畑あつみかぶ」の原産地**
- ブランド水産物 紅えび、庄内おぼこサワラ、庄内北前ガニ
- ➔歴史と最先端技術の温故知新が共存、海と山両方の恵みを楽しめる自然豊かなまち！
- **第62回農林水産祭で越沢自治会が「むらづくり部門」で内閣総理大臣賞を受賞！**



焼畑あつみかぶ



国宝 羽黒山五重塔



SUIDEN TERRASSE



隊員情報：石井信（農振局都市農村交流課）、岩下隆成（国政局総合計画課）

鶴岡市温海地域の課題

■ 政策分野 農産物の販路拡大・地域の担い手確保

- 在来作物「温海カブ」の生産農家の高齢化による栽培戸数と生産量の減少
- 温海カブを栽培する際の焼畑農法を始めとした栽培・加工技術の継承者の減少
- 焼畑農法によって育てる温海カブ「焼畑あつみかぶ」のブランディング・高単価化・販路拡大



実際に訪問したところ・・・

- 生産量が少量・不安定で、既存販路にも高付加価値品を充分提供できていない
- 生産農家ごとに品質やブランド化意識に差があり、販売機会を生かし切れていない

応援隊の活動報告

これまでの活動

- R4年8月以降、概ね月1回程度のオンラインミーティングを実施。R4年11月、R5年11月の2回現地に訪問。
- 現状把握・課題整理・対応方針作成について隊員としての目線で助言する。

取組の成果

- 生産量確保に必要な人手の確保に向け、収穫体験を盛り込んだ「農業労働力支援ツアー」の造成を提案。同趣旨の取組を別地域で行い、隊員とつながりのあったJA全農・JTBの担当者を紹介。

今後の展望

鶴岡市において、

- 令和6年度における「農業労働力支援ツアー」の実現を目指し、必要な調整の実施
- 生産量確保後を見越した市場や新規販路開拓に向け、引き続き取組みを進める。

喜界町の魅力ポイント

■ 面積 56.94km² ■ 人口 約6,700人 ■ 指定地域 奄美

■ サンゴ礁が隆起してできた喜界島

- ・町内ではサンゴで出来た石垣や灯籠が見られる
- ・展望スポットの「テーブルバンタ」からは年代ごとのサンゴ礁段丘が一望できる
- ・日本で唯一のサンゴ礁研究に特化した研究所が立地。サンゴ留学といった制度もある

■ 農業が盛ん、国内一の白ゴマの産地

- ・サトウキビ畑の中をまっすぐに伸びる全長約3.5kmの「シュガーロード」
- ・生産量日本一の白ゴマや島固有の柑橘類、ソラマメを栽培。加工も町内で行う
- ・地下ダムの整備により、ブロッコリーやカボチャなどの作物の栽培も増加

■ 独自の文化・自然が残る島

- ・奄美十景のひとつで、隆起サンゴ礁の高台である「百之台公園」
- ・島一番のパワースポットである巨大ガジュマル



喜界町の課題等

■ 政策分野 関係人口創出

- 人口減少による産業の衰退、宿泊施設や空き屋、交通手段など、関係人口創出に関わる受け皿不足が進んでいる。また、近隣地域と差別化を図り、有効な情報発信をどのように行うかが課題。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 22年9月に、応援隊と喜界町の各課若手職員、地域おこし協力隊、地元の観光業者でPTを結成。
 - オンライン会議をつき1回程度実施し、意見交換をしながら活動。
- 現地訪問 22年10月、23年2月（23年8月は台風で訪問できず）
 - 各地域の集落長との意見交換や、来島者等へのアンケートを実施。



取組の成果

- 来島者等へのアンケートや、島内関係者との情報交換を通じ、今後の関係人口増に向けた施策の方向性の検討を進めた。

今後の展望

- 関係人口の創出に向け、公民館等を交流スペースへ整備する等の施策検討を進め、受け皿不足の解消に取り組んでいく。

隊員情報：谷 悠一郎（農村振興局設計課）、安井 一人（国土政策局広域地方政策課）

蘭越町の魅力ポイント ■面積 449.78km² ■人口 約4,400人 ■指定地域 過疎、振興山村、特豪

- ニセコに隣接する地域として尻別川をはじめとする川、山、海すべてがそろった自然豊かな町
- 町内で育てている米は「らんこし米」として美味。米の日本一を決める米-1グランプリを行うなど、米の町としてブランド化！
- 米だけでなく野菜、ワイン用ブドウなど、さまざまな農産物が作られ、すべてがおいしい！
- 町内に7つの温泉郷があり、それぞれ良質で異なった泉質が堪能できる！



米をおかずにご飯が進む！らんこし米



温泉が湧く！大湯沼



実は珍しい！簡易委託駅の蘭越駅

蘭越町の課題

■ 政策分野 農作物のブランド化、観光振興

- 特産品である「らんこし米」について、地域ブランドとしての推進をより進めていこうとしており、農家、商工会、JAといった関係者をまとめた推進のあり方を検討する必要
- ニセコの西側に位置することから、奥ニセコとしての観光施策を進めているものの実態が伴わず、観光資源の深掘りが課題
- 観光による訪問者は増えているが、滞在型とするのか、回遊型とするのか、今後進めていく方向を定めていく必要

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 2, 3か月に1回程度webで打ち合わせを行い、現場での課題・問題意識を把握するとともに、町長の上京時に懇談を行い、町トップの方向性を確認した。
- 現地調査を1回実施し、農家、観光協会、役場と意見交換するとともに、問題の深掘りを実施。

今後の方針

- web打ち合わせや現地調査を行い、引き通し問題解決の方向性を定める。
- 観光施策については方向を定めただうえで、観光資源の深掘り、外部からの視点の提供を進める。
- 地域ブランド化を進める農業についても、方向性をさらに進めて、課題を深掘りする。

古平町の魅力ポイント

■ 面積 188.4km² ■ 人口 約2,700人 ■ 指定地域:半島・豪雪

■ 魅力あふれる“海の幸”！

古くから鯿漁やタラコを中心とした水産加工業などで栄えた“海のまち”であり、積丹地域最大の水産物流通拠点である古平漁港を有する。

■ 道内屈指の“釣り場”！

1年を通してほっけ、かれい、時期によってさくらます、ひらめ、するめいかを釣ることができる。

■ 大漁と海の安全を祈願！“天狗の火渡り”

朱色装束と天狗の面をした猿田彦が町内を周り、火の粉を蹴散らしながら炎の中を渡る伝統行事。

■ 源泉掛け流しの天然温泉！“ふるびら温泉しおかぜ”

積丹ブルーの日本海を望むロケーションにあり、源泉掛け流しの天然温泉。濃厚な褐色湯は地元の方々に愛されている。



古平町の課題

■ 政策分野：観光振興

年間100万人以上の観光客が訪れる道内有数の観光地の「積丹町」や「余市町」に挟まれた立地ながら、古平町を訪れる観光客はその1割にも満たない年間10万人弱であり、素通りされる町となっている… → 観光面での課題

■ 海業振興

市場見学や漁業体験等、宿泊を伴うツアーの実施に向けて、事例等を探し構想を具体化

■ キャンプ場

キャンプ場施設の今後の運営について、事例等を探し活用方法を提案

■ 道の駅

古平町に寄り、知ってもらおうきっかけとなる道の駅を目指して事例等を探し、建物内部のコンテンツの検討

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 2、3ヶ月に1回程度、担当者と隊員でオンラインの打合せを実施
- 資源を有効に使うために隣の余市町との連携を検討



今後の方針

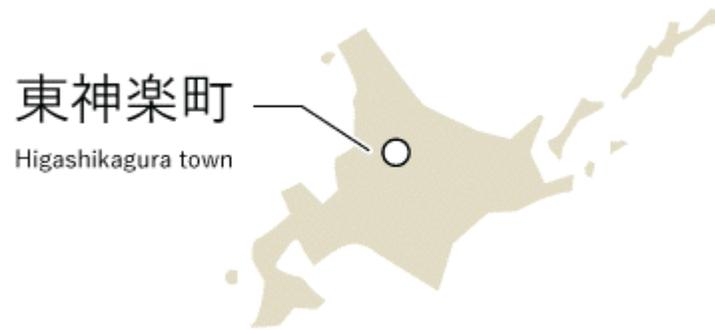
- 引き続き、2、3ヶ月に1回程度の打合せを行い、現状の整理や事例の紹介を行う。
- ヒアリングを丁寧に行い、問題の深掘りと地方応援隊としての関わり方を検討するとともに現地視察を行う。



東神楽町の魅力ポイント

■面積 68.5km² ■人口 約9,800人 ■指定地域 豪雪

- 旭川空港の所在地であり、抜群のアクセス！
- 旭川、美瑛、大雪山など、人気観光地に近接！
- 農地と住宅地のゾーニングが明確で都市計画の成功例
- 子育て支援、活発なコミュニティ活動
行き届いた除雪などによる高い住民愛着度と満足度！
- 米が名産の稲作地域、多品目の野菜の出荷、
超高品質家具の生産
- 全国トップクラスの農業の労働生産性と少ない耕作放棄地！



東神楽町の課題

■ 政策分野 観光振興・空き家対策

- 旭川空港の所在地であり、富良野美瑛地区に隣接しているが、飲食店等が少なく、観光客に素通りされてしまう
- 市街化調整区域内の空き家が増えている
 - 市街化調整区域における規制について、弾力的な運用により、空き家で地元産食材を活用した飲食店を開業できるようにし、観光振興と空き家問題の解決を図れないか
 - 住みやすさや立地を活かした二地域居住の呼び込み



マスコットキャラクター
「かぐらっき〜」

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 1～2ヶ月に一度のオンライン打合せ、7月に現地訪問による意見交換と町内の視察
- 市街化調整区域における空き家活用のための規制の弾力的な運用について情報収集

今後の方針

- 1～2ヶ月に一度のオンライン打合せを継続するとともに、冬季における現地訪問を予定。
- 空き家活用のための規制の弾力的な運用の実行に向けた方策について検討を進める。

隊員情報：長崎桃子（農村振興局設計課）、杉江秀香（農村振興局農地資源課）、黒枝洋平（国土政策局広域地方政策課）

むかわ町の魅力ポイント

■面積 711.36km² ■人口 約7,300人 ■指定地域 過疎・振興山村

■ 山・川・海が揃う、雄大な自然に囲まれた町

一級河川の鶴川(むかわ)が流れ、河口ではバードウォッチング、中下流域ではサップエリアとして人気

■ むかわといたら鶴川ししゃも！

北海道の太平洋沿岸にのみ生息する希少種

スーパーで見かける樺太(からふと)ししゃもとは違った、深い脂の旨味が堪能できる

■ 自慢のほべつメロン

昼夜の寒暖差が大きい初夏のむかわで成熟した、甘くて柔らかな果肉が特徴

■ 世界から注目！「むかわ竜」発掘の土地

世界的に珍しく、海地層から植物食恐竜の全身骨格化石が発掘

穂別博物館では、むかわ竜のほか発掘された多種多様な化石を展示。大人気の化石発掘体験も有り。



むかわ町恐竜ワールド
ホームページ



むかわ町公認キャラクター
「むかろん」



一級河川 鶴川



鶴川ししゃも



ほべつメロン



穂別博物館 むかわ竜
(学名：カムイサウルス・ジャポニクス)

むかわ町の課題

■ 政策分野 農業振興（担い手確保、遊休農地対策）

- 新規就農モデルの構築による農業の担い手確保
- 労働力の確保や省力化に向けた取組の推進
- 雇用就農者の募集事業の検討

現在・・・

新たな農業研修生の確保に苦慮。PR活動を行うも、中々結果につながらない。そこで、研修制度や内容を改善し、研修生確保の再起を図る！！

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 定期的なオンラインミーティングで課題の把握やアイデアの提案を実施
- 7月に現地を訪問し、魅力ポイント等の視察及び**新規就農者や役場職員との意見交換**を実施
- むかわ町がブース出展する「**新・農業人フェア**」（7月, 1月）を視察
就農への世間の関心度やブースの実態、他の自治体の取組などを確認

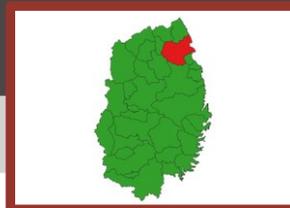
今後の方針

① **地域おこし協力隊（農業部門）の活用**に向けた検討

・・・活動内容や、3年間の研修スケジュール、隊員の就農・定住につなげる工夫などについて検討

② **むかわ町の知名度アップ**や就農推進の取組に関する情報発信や広報手段の検討

・・・広報物や広報手段、関係人口創出への提案など、町内外の人に関心を持ってもらう取組について検討



久慈市の魅力ポイント

■ 623.5 km² ■ 約3.2万人 ■ 過疎地域、特定農山村地域

歴史 琥珀と恐竜の眠る太古のロマン

恐竜が生きていた時代の地層から琥珀や古代生物の化石が発掘される太古のロマンを感じられる地域。琥珀の発掘量は日本一



観光 じえじえじえ！？海女さんの聖地

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のロケ地として2016年からロケツーリズムに取り組む。小袖海岸で活躍する「北限の海女」も人気



美食 海と山に恵まれた久慈ブランド

通称エリート牧場で放牧される「山形村短角牛」や2019年から養殖試験を開始した「久慈育ち琥珀サーモン」をはじめとする特産品



久慈市の課題

■ 政策分野：食育、農林水産業の振興

■ 学校給食センターの稼働率改善と有効活用

生徒数の減少による需要低下に伴う学校給食提供に係る各施設の稼働率低下、稼働停止する山形地区学校給食センターの利活用

■ 食育を通じた郷土愛の醸成や農林水産業の振興

学校給食における久慈地域産食材使用割合の向上、農林水産業の担い手確保や地域資源の活用

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年5月より月1回程度のWEB打合せを実施
- 学校給食センター及び地場産業農産物利用に係る質問票を通じた情報収集後、同年7月に現地視察を実施（学校給食の流通に係る施設、小袖海女センター等の観光施設の視察）
- 同年8月農林畜産業の現状把握のため、久慈市担当課にヒアリングを実施

今後の方針

- 山形地区学校給食センターに関する活動停止後の活用用途の検討と支援施策の提案
- 地場産農産物の担い手問題や販売による収益性向上に係る助言・情報提供

糸魚川市の魅力ポイント

■面積 746.24km² ■人口 約4.0万人 ■指定地域 豪雪、特定農山村、振興山村、過疎■ **日本初**のユネスコ世界ジオパークのまち

- ・日本海から、北アルプスの山々まで壮大なスケールで広がる緑の大地。
- 2つの国立公園 (妙高戸隠連山、中部山岳) と3つの県立公園 (久比岐、白馬山麓、親不知・子不知)
- 8つの漁港と6つの海水浴場!

※ジオパーク：「地球・大地 (Geo)」と「公園 (park)」を合わせた造語

■ **日本一**の石ころタウン!

- ・フォッサマグナの上にある糸魚川は、岩石の種類が豊富!
- ・国石「ヒスイ」(2016.9.24選定)、新潟県の石「翡翠」(2022.11.4指定)

出典：糸魚川の自然の特徴/糸魚川市 (itoigawa.lg.jp)出典：<特産品> ベニズワイガニ漁の解禁 (糸魚川市) / 糸魚川市 (itoigawa.lg.jp)

日本の国石ヒスイ 写真提供：糸魚川市

出典：日本の国石 ヒスイ | 糸魚川ジオパークについて | 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク (geo-itoigawa.com)

糸魚川市の課題

■ 政策分野 公共事業

（前提）幹線道路である国道8号、高規格道路のトンネル等の整備（渋滞・安全対策）が必要

■ 大型公共事業（高規格道路、トンネル等）に伴う発生土の処理

親不知道路・糸魚川東バイパス、松糸道路の整備に伴う発生土（約200万立米規模、時期未定）について、処理するための敷地がない。（さらに急峻な地形から災害発生土も存在。）

⇒利活用に向けた10～20年スパンの大きな構想を作っていかなければいけない。そこで全国の事例を応援隊から教えてほしい。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 6月に現地訪問を実施し、大型公共事業候補地、発生土の埋立候補地について視察
- 「建設発生土の利活用事例集」、「建設発生土の官民有効利用マッチングシステム」について情報提供
- （隊員変更に伴い）8月にオンラインで顔合わせを実施。問題意識の再共有

今後の方針

- 現地訪問を実施し、“その他の地域課題への対応も含めて”意見交換を実施予定。
- 地すべり巡視の課題に対しての、DX化について相談を受ける予定。
 - ・地すべり巡視員による人海戦術も限界にきている（高齢化、人手不足）
 - ・現地に通信可能な監視カメラの設置により常時監視できる体制の構築などを行いたい。（デジタル田園都市国家構想交付金の活用など）



隊員情報：佐々木 優（大臣官房地方課）、平野 健太（国土政策局地方振興課）

長野県飯山市の魅力ポイント

■面積 202km² ■人口 約2.0万人 ■指定地域 過疎、特別豪雪地帯

- 平成27年に北陸新幹線が開通したことで、**東京駅から100分**とアクセスが良くなった。
- 宝島社『田舎暮らしの本』が2023年版「**住みたい田舎**」ベストランキングで**全国ベスト3**にランクイン。
- 平成18年から現在までの**移住者数は約1200人**となっている。
- 飯山市は**豊かな自然と四季の美しさ**がある。
 菜の花や里山の山野草が咲き乱れる春
 山と田んぼの緑に包まれる夏
 黄金色の稲穂が揺れ、鮮やかな紅葉に染まる秋
 一面が銀世界に包まれる冬
- **トレッキング、スキーに温泉**を楽しむことが出来る。
- 特産品は**お米（コシヒカリ）、アスパラガス、みゆきポーク**



飯山市の課題

■ 政策分野 農業振興

- 柳原地区は 20 年前から稲作を中心にした集落営農組織に取り組む地域であるが、下記の課題。
 - ほ場整備から40年近く経過し、農業用施設の老朽化が進むが、土地持ち非農家が多いことや、基盤整備の農家負担が懸念され、議論が進まない。
 - 多面的機能・中山間地域支払に取り組むも、高齢化により農地の保全活動への不安がある。
 - 集落営農組織の高齢化が進むが、後継者の不安がある。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年5月より月1回程度、飯山市担当者と応援隊員によるオンラインミーティングやメールによるやりとりを実施
- 応援隊員より、関係部署から入手した関連施策の情報を提供

今後の方針

- 自治体職員との打合せにより、地域課題をおおむね見出したが、その深掘りを行うために地域の方との打合せや現地調査を行う方向で調整

北山村の魅力ポイント ■ 面積 48.2km² ■ 人口 約400人 ■ 指定地域 半島振興対策実施、振興山村、特定農山村、過疎

3つの日本唯一！！

① 飛び地の村



和歌山なのに三重県と奈良県に囲まれ和歌山県に接していない！

② 筏下り

和歌山県指定無形民俗文化財



③ じゃばら



+ 山に囲まれた自然を生かした名所がいっぱい！



北山村の課題

■ 政策分野 空き家・観光

空き家の活用

- 村の人口減少が顕著な中、村外からの移住を増やし、定住を進めることが必要。
- 一方、村内は地理的に平地に限られ、移住・定住人口を増やすためには住宅の確保が急務。
- そこで、村営住宅も数に限りがあるため、老朽化の進む空き家の住宅としての活用が課題。

観光振興

- 村内の観光資源としては、夏季シーズンの観光筏下りが主であり、オフシーズン（10～4月）の観光振興が課題。
- 訪日外国人向けの多言語対応など、観光客の受入環境の整備も課題。
- また、全ての課題に共通するが、観光協会や役場の人手も限られており、マンパワー不足が顕著。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年7月に現地視察を実施。上記課題について村役場から現状をヒアリングするとともに、村内の空き家の状況を視察。また観光筏下りやオフシーズンの観光資源について観光協会と意見交換を行い、新たな観光資源となりうる雲海スポット、おくとろ道の駅周辺も視察。じゃばら（柑橘）の生産・加工の現状についても説明を受けた。
- その後、オンラインにて定例ミーティングを行い、応援隊からは①受け入れ環境整備に向けた観光関連の制度や、農泊関係の制度の紹介、②北山村と酷似した環境で不動産業を行う梅鉢不動産を交えた意見交換、を実施。
- 令和6年1月に現地視察を実施。通年の観光資源となり得る筏師の道、新たなじゃばらの加工場を視察。また次年度の活動のあり方について意見交換を実施。

今後の方針

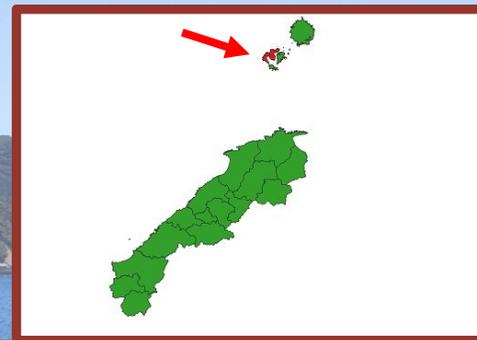
- 空き家の活用及び観光振興について、引き続き、課題解決に資する施策を紹介。
- また、令和5年度の活動状況を踏まえて、令和6年4月より、役場において所属横断的なチームを設けて、応援隊員とともに、北山村の将来ビジョンを策定予定。

西ノ島町の魅力ポイント

■面積55.96 km² ■人口 約2,500人 ■指定地域：離島・過疎

摩天崖 (まてんがい)
 海拔257mの大絶壁。

目下に広がる壮大な海や、荒々しい波と強い風によって侵食された崖で、日本有数の高さを誇る。
 一生に一度は訪れたい「遊歩百選」に認定。



国賀海岸

隠岐ユネスコ世界ジオパークを代表する景観



西ノ島ハーフマラソン
 (写真は西ノ島町Instagramより)



まちの図書館「いかあ屋」
 (行こうよの意)



馬と牛が放牧！



町の特産品「さざえの缶詰」

西ノ島町の課題

■ 政策分野：定住対策・産業活性化・観光

- 1次産品が島外へ流出し、供給が不安定
(基幹産業は漁業だが、本土で水揚げされるものも多く、島で流通する魚が少ない)
- 若い世代の本土への流出 (事務系の職場が少ないことが一つの要因)
- テレワークオフィス、コンテナハウスなどの施設の利用者不足
- 隠岐諸島随一の景観資源を活かしきれていない

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 2度の打合せを経て、8月に現地視察
- 今後取り組む課題を整理し、隊員として視察を通して感じたことを伝達
- 移住施策に関して、先進自治体や法人の情報を提供

今後の方針

- 移住者の獲得や、若い世代の流出を防ぐための仕事・場所の提供方法について、制度や他地域の事例を紹介
- 広報戦略等、町が行政としてできることを助言、支援

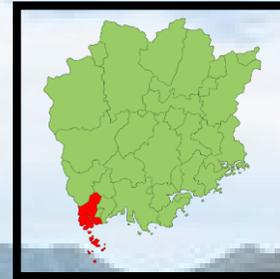
笠岡市の魅力ポイント

■面積 136.2km² ■人口 約4.4万人 ■指定地域 離島

<笠岡の地理的特徴といえば! ?>

- ・岡山県だけど、福山経済圏
- ・瀬戸内海と笠岡諸島

ここは岡山? 広島?



白石島 (鎧岩。白石踊は国重要無形民俗文化財)

北木島 (千鳥大悟の出身地 (家族は今も在住)。
国会議事堂の大理石、大阪城石垣などを産出)

- ・笠岡湾干拓地 (大規模農業、ひまわりやコスモス、
菜の花の花畑もきれい)



<笠岡の美味しいものといえば! ?>

- ・県内給食の4割をカバーする牛乳! 干拓に牛1万頭!
- ・最近人気の笠岡ラーメン (鶏チャーシュー乗せ鶏ガラ醤油ラーメン)
- ・岡山といえばやっぱり桃! 白桃の香りがハンパない!
- ・瀬戸内海で獲れたシャコ! (笠岡市の市魚!)
- ・地ビール (六島でクラフトビールを醸造)



<笠岡の特徴といえば! ?>

- ・カブトガニの生息地! カブトガニ博物館

※1928年 (昭和3年) 生江浜海岸が

「天然記念物カブトガニ繁殖地」として、国天然記念物指定。

- ・紅白でも放送されたよね! 藤井風の家がすぐそば



笠岡市の課題

■ 政策分野 漁業振興、離島振興

- 笠岡市は、瀬戸内海に面し、有人離島7島を抱える。離島部は人口減少、高齢化、経済活力の低下に悩まされる中、応援隊は主に下記2点の課題に取り組む。
 - ① 総合海洋教育の拠点をつくる事業である「渚の交番プロジェクト（渚の交番かさおかしまラボ（仮称））」を立ち上げ、収益事業として軌道に乗せる。
 - ② 飛島で行われている離島留学事業「フリースクール育海（はぐくみ）」が、（運営経費の裏付けのない）2025年以降も継続的安定的に運営できるための道筋を作る。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年5月：オンライン打合せ（顔合せ。市より市の概況、有人離島の様々な課題の説明）
- 7月：オンライン打合せ（視察のスケジュール、内容についてのすり合わせ）
- 7月：現地視察（市長との意見交換、有人離島等の視察、現況把握）
- 8月：オンライン打合せ（応援隊の取り組む課題の設定、離島留学の解決策の提示）
- 10月：オンライン打合せ（渚の交番事業についての現況のヒアリング）
- 11月：オンライン打合せ（渚の交番事業の方針議論、【宿題】島のお土産品案）
- 11月：笠岡思民の会@東京新橋 出席
- 令和6年1月：オンライン打合せ（島のお土産品案調べの報告（宿題返し））

現在の進捗と今後の方針

- 「渚の交番プロジェクト」については、事業主体である「かさおか島ラボ」の構成が明らかになり、また、事業内容の方向性が見えてきた段階。今後は、かさおか島ラボを中心に、事業計画の細部を詰めていく。応援隊としては、現在、新事業の収益の目玉になるお土産品案について優良事例を調査し、報告した。
- 「育海」については、応援隊から、国の補助事業の活用可能性を中心に、財源案を提言。市では提言を踏まえて、方針を検討中。

井原市の魅力ポイント

■面積 243.54km² ■人口 約3.7万人 ■指定地域 過疎

■【井原デニム】国産デニムのルーツ！「デニムの聖地」

江戸時代から藍染織物の産地として発展。欧米のバイヤーから絶賛されており、ヨーロッパの有名ブランドやアメリカの高級ジーンズアパレル向けに多く輸出。2019年、地域団体商標登録。

【ポスター】井原デニム
(提供/井原商工会議所)



■【美星の星空】天文学者が選んだ！「日本三選星名所」

天体観測の好適地、美星町。1989年に国内で初めて光害防止条例を制定し、星空保護の先駆的役割を長年リード。2021年、アジア初の星空保護区(コミュニティ部門)に認定。



【写真】美星天文台と美星の星空
(提供/美星天文台)



【ポスター】井原のぶどう

■【ブドウ・明治ごんぼう・美星満天豚】優れた農産物！

* 「くだもの王国おかやま」が誇るブドウ作りに適した気候や土地に恵まれた、西日本有数の産地。品質の高さと厳選な選果・選別により、消費者や市場関係者等から高い評価。

* 約250年の歴史がある、粘土質の赤土畑でじっくり育った、きめが細かく筋張っていない、香り高いゴボウ。2017年、イオンリテール(株)のフードアルチザン(食の匠)活動を始動。2021年、地域団体商標登録。

* 世界が認めた星の郷「美星」で育てた極上の豚肉。飼料にコメを混ぜた特別な飼料が与えられた豚は、透き通るような脂と、きめの細かい肉質が特長。2022年、商標を取得。



【ポスター】明治ごんぼう



【ポスター】美星満天豚
(提供/J A 晴れの国岡山)

井原市の課題

■ 政策分野 地域振興・地域活性化

■ 「賑わい創出拠点」の整備

- 井原市芳井地区では、**人口減少、少子化・高齢化の進展**に伴い、**医療、福祉、産業、公共交通**など広く問題が生じている。
- 一方、県が行う橋梁の架け替え事業に伴い、芳井地区にある唯一のスーパーが支障となる。
- 地元スーパーの代替機能のほか、**交流人口増加、防災体制の強化、産業の活性化等を目的とした「賑わい創出拠点」の整備を検討**。⇒「賑わい創出拠点」は、道の駅やかわまちづくり施設を想定

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 月1回程度でオンラインで打合せ（5月、6月、9月、11月、R6.1月）
- 賑わい創出拠点候補地や、主要観光地、ぶどう選果場、農産物直売所、近隣の道の駅等を視察（7月）
- 賑わい創出拠点整備検討会議への出席（第1回：R6.1月）



県指定名勝の天神峡
（紅葉でも有名）



賑わい創出拠点候補地

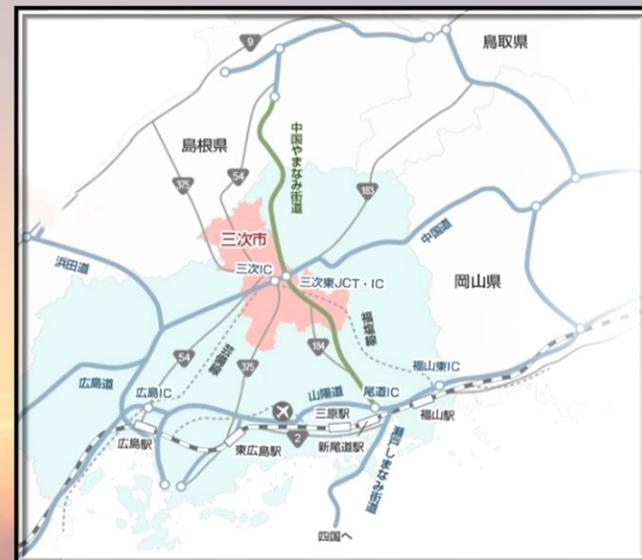
今後の方針

- 月1回程度のペースで開催される検討会議に出席し、課題や方向性を把握する。
- 上記会議で挙げられた検討事項等について、情報収集のうえ適宜アドバイスを行う。

三次市の魅力ポイント

■ 面積 約778km² ■ 人口 約4.9万人 ■ 指定地域 過疎

- 中国地方の中心部に位置しており、古くから、山陰－山陽を結ぶ文化・経済・交通の要衝の地となっています。
- 広島県無形民俗文化財に指定されている「三次の鵜飼」は、450年以上にわたり継承されている伝統漁法であり、三次の夏の風物詩として広く愛されています！！
- 黒の真珠こと「三次ピオーネ」や「TOMOEワイン」など、多くの特産品を「みよしブランド」としてブランド化に成功！三次のワインはG7広島サミットでも提供された！！
- 三本の川が合流する特徴的な地形から、秋から早春にかけて川からあがる水蒸気が冷やされ霧が発生します。山上から三次盆地を見渡すと盆地全体が霧に覆われる「霧の海」と呼ばれる幻想的な景色が広がります！！



三次の鵜飼



三次ワイン



三次の四季



三次市の課題・検討状況

政策分野 地域公共交通

■ JR芸備線の利用促進と移住・定住対策

→芸備線を利用したカープの応援ツアーやサイクルトレイン等、イベントと連携した利用促進策や観光資源の活用を含めて、恒常的に芸備線の利用者を増やす取組を通じて三次市への移住者・定住者の増加を目指す。

■ 路線バス・市民バス等、公共交通の路線維持

→市内に点在する「道の駅」「川の駅」などを拠点とし、路線バスを用いて野菜などを運搬する貨客混載の実施を検討し、利用率の低いバス路線の利活用を進める。また、AIを活用したバスの運行の効率化について導入の可能性を検討する。



ロゴマーク
「みよし人よし 元気よし」

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 月に1回程度、三次市担当者と隊員とでオンラインにて打合せを実施。
- 令和5年7月、令和6年1月に現地調査を実施し、事業者も交えた意見交換や市内視察を実施。

今後の方針

- 月に1回程度、オンラインでの打合せを継続
- バス路線を用いた貨客混載の仕組みについてバス会社・JA等を交えながら、来年度の実証調査を目指して検討を行っていく。

宇城市の魅力ポイント

■面積 188.6 km² ■人口 約5.7万人 ■指定地域 半島

■自然と都市的機能のバランス

宇城市は、九州の経済大動脈である国道3号と、西は天草、東は宮崎県への結末点という地理的状況に恵まれ、美しい田園風景と不知火海の文化に彩られた自然景観も充実

■多様な特産物

- ・宇土半島南岸の不知火町は**“デコポン発祥の地”**
- ・土地条件を生かし、水稻やメロン、梨、ぶどう、柿、葉たばこなど、多様な農産物を生産

■おすすめポイント

- と・海岸部は江戸時代には、「漁港」「醸造」「商業」の町として栄え、世界遺産を含め名所多数
- ・若手の農業後継者が新たな取組を始めるなど、元気な一面も風景



松合土蔵白壁



insta撮影スポット

永尾神社鳥居



デコポン発祥の地で、ほかにも沢山のフルーツが収穫



世界文化遺産 三角西港

宇城市の課題

■ 政策分野 地域振興・農業振興

■ 人口減少の進行

- ・松合地区・豊野地区の人口減少は深刻であり、予測よりも急速に進行

松合地区

■ 関係人口・交流人口の増加

- ・不知火（デコポン）を含め地域資源が豊富であるが、**関係人口・交流人口の増加**につながない
- ・廃校となった松合小学校の活用方針が定まっていない

豊野地区

■ 農業の担い手の確保

- ・地区の基幹産業である**農業における人手不足や後継者問題**が深刻

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 地区ごとの課題の整理、目標の設定を行ったのち、活動方針を設定した。（～8月）
- 松合地区の農業者への聞き取りの実施に向け、調査内容等の検討、資料の収集などを行った。（～11月）

今後の方針

- 現地調査及び課題の深掘りのため関係者の聞き取り等を実施予定（1/21）
- 地区の将来ビジョンを念頭に置きつつ、克服すべき課題について引き続き整理を行う。